

★講演内容

1) 平郡島にある神社の狛犬

平郡西の重道八幡宮の狛犬には「北海道岩見沢 明治十七年開始より廿四年まで移住者」と題して、岩見沢へ移住した人々の氏名が刻まれています。開拓の成功者たちが奉獻した狛犬です。東の海童神社にも同様の狛犬が奉獻されています。



重道八幡宮の狛犬

2) 巖島合戦への協力

弘治元年（1555）に巖島で毛利元就軍が陶晴賢軍に勝利した際、平郡島から兵員輸送のために漁船を出し、毛利軍の勝利に貢献しました。

3) 平郡舩子から平郡士族へ

毛利の配下に位置づけられた平郡島民は、江戸時代に交替で100人が防府の三田尻に出張し、毛利藩船に乗り込んで、帆の揚げ降ろしや甲板掃除などの舩子役をこなしました。明治時代になると、平郡舩子は士族となります。

4) 士族を救済するための北海道移民

禄を失った困窮士族を救うために、北海道への開拓移民の制度ができます。士族が存在した平郡島からも多くの人々が応募しました。



滝川二ノ坂附近屯田兵村風景
所蔵：北海道大学附属図書館

5) 平郡開拓民の活躍

他の城下町からの士族に比べ、平郡島出身者は勤勉で農作業に慣れており、模範的に開拓を成し遂げて大活躍をしました。

★平郡島の紹介

平郡島は、山口県南東部、柳井市柳井港の南方20kmの瀬戸内海上にある東西に細長い島です。架橋されていない島としては山口県最大面積を誇る有人離島で、標高468mの深山を最高地点として、島の中央部を深い山が背骨のように走り、平坦地が少ない地形です。平郡島を含む柳井市は、年間日照時間が全国でトップクラス、平均気温も15.6℃と、比較的穏やかな気候で、夏の猛暑日や熱帯夜は珍しく、冬の積雪もまれです。

昭和22年(1947)の平郡島には3,848人も島の民が居住し、大いに活気を呈していましたが、やがて若者たちが高学歴をめざし、都市部で就職する傾向が強まると、人口が漸減していき、現在では約250人になっています。

住民数は減ったけれども、過疎化を打破して活気ある平郡にしようと、様々な取り組みが企画され実施されつつあります。今まさに明るい展望を胸に、多大な努力がなされています。



オレンジ色に染まる島(平郡西地区)

○主催 平郡西地区コミュニティ協議会

○後援 柳井市教育委員会

○問合せ 西平郡連絡所 Tel0820-47-2311 地域づくり推進課 Tel0820-22-2111 (461)